

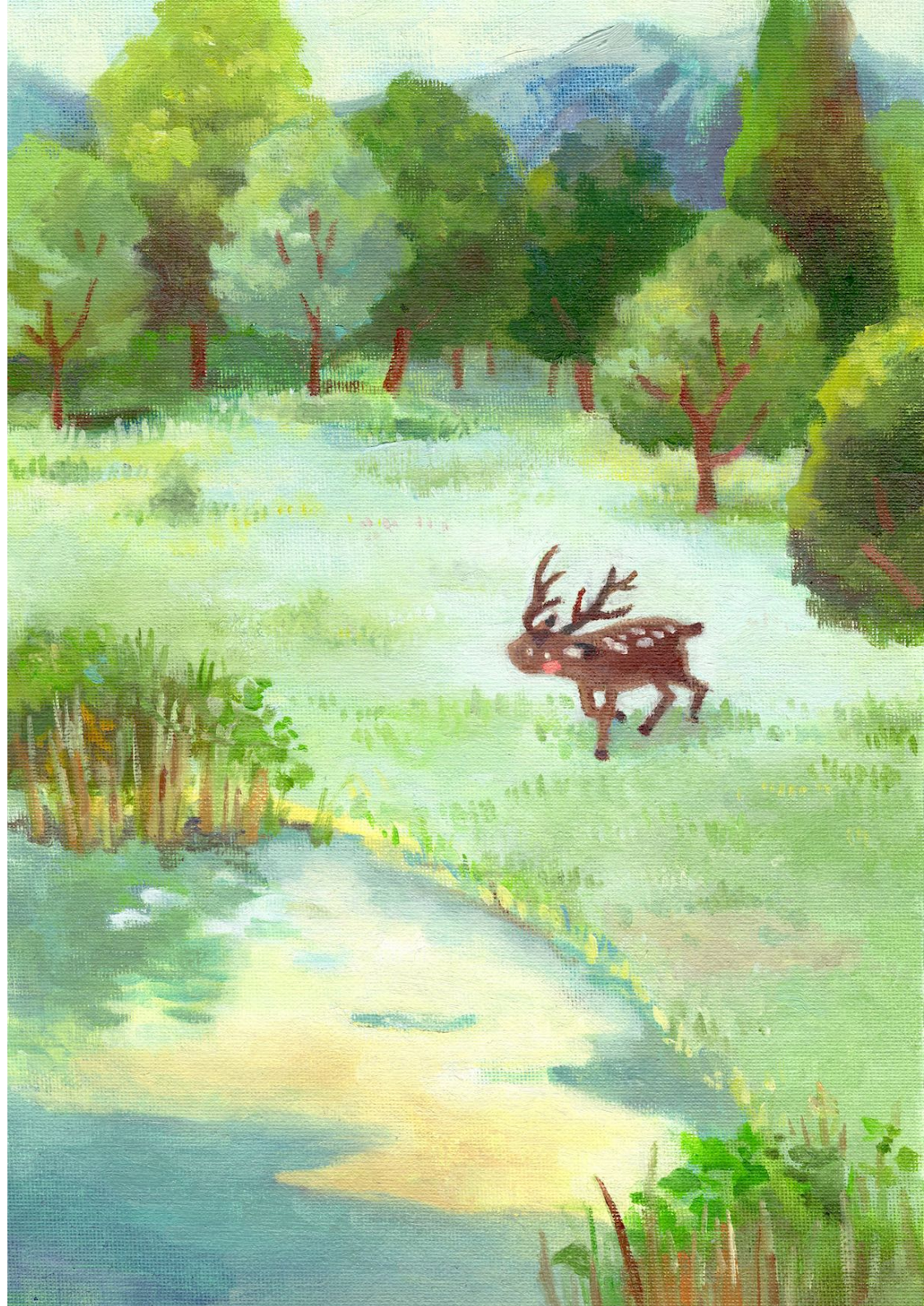
3

One day, a deer who lived in a forest traveled down to a big lake on a grassy plain.

He had been walking for a very long time, and so he was very thirsty.

"I'm finally here, I can't wait to drink some water."

As he leaned over to the surface of water, he saw a reflection of himself.



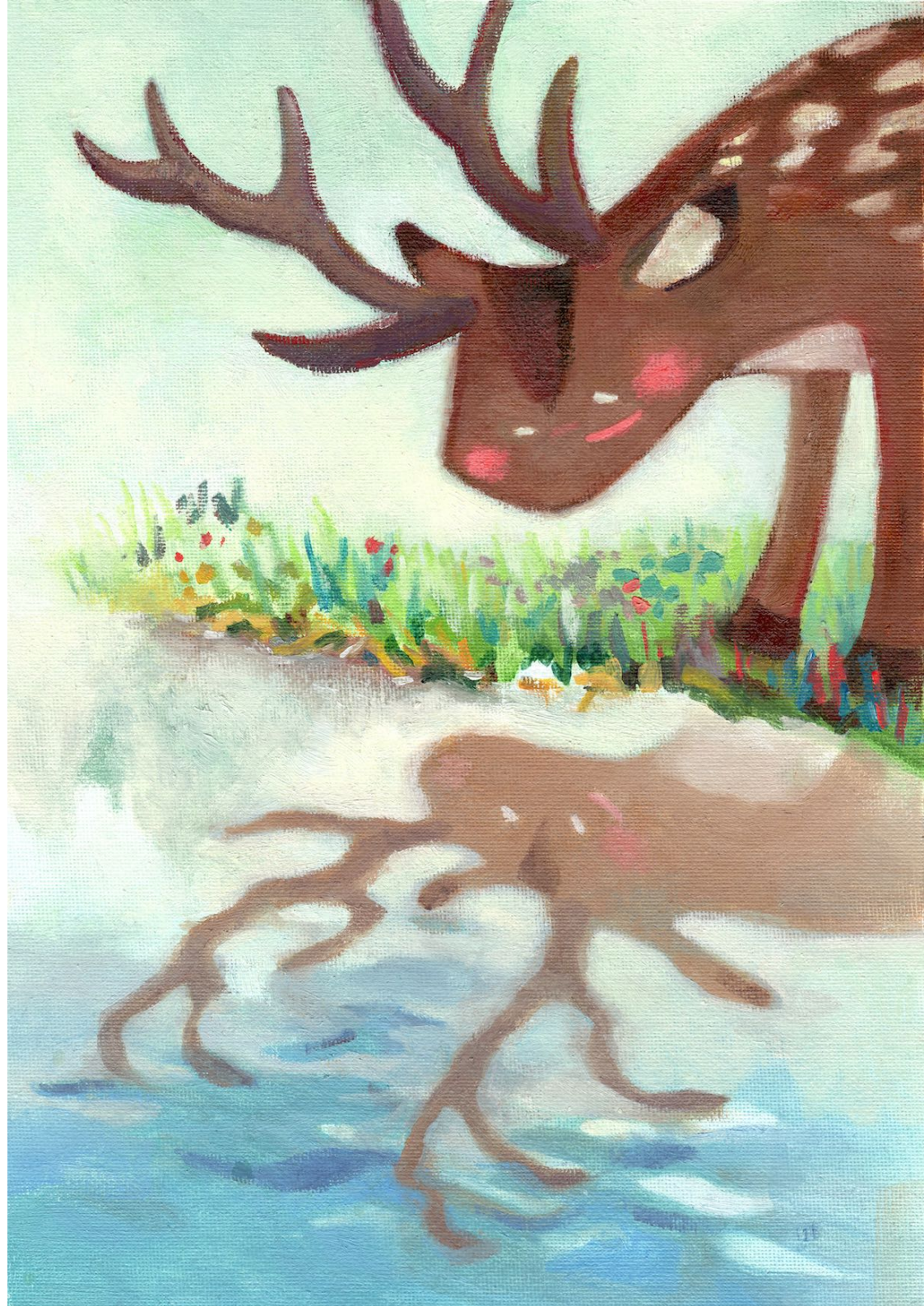
5

"Oh, my horns are so big and magnificent."

However, when he looked slightly lower,
he saw white and skinny legs.

"Sigh... My legs are so ugly and unattractive.
I wish I had fatter and finer legs."

He sighed very deeply as he was very
disappointed.

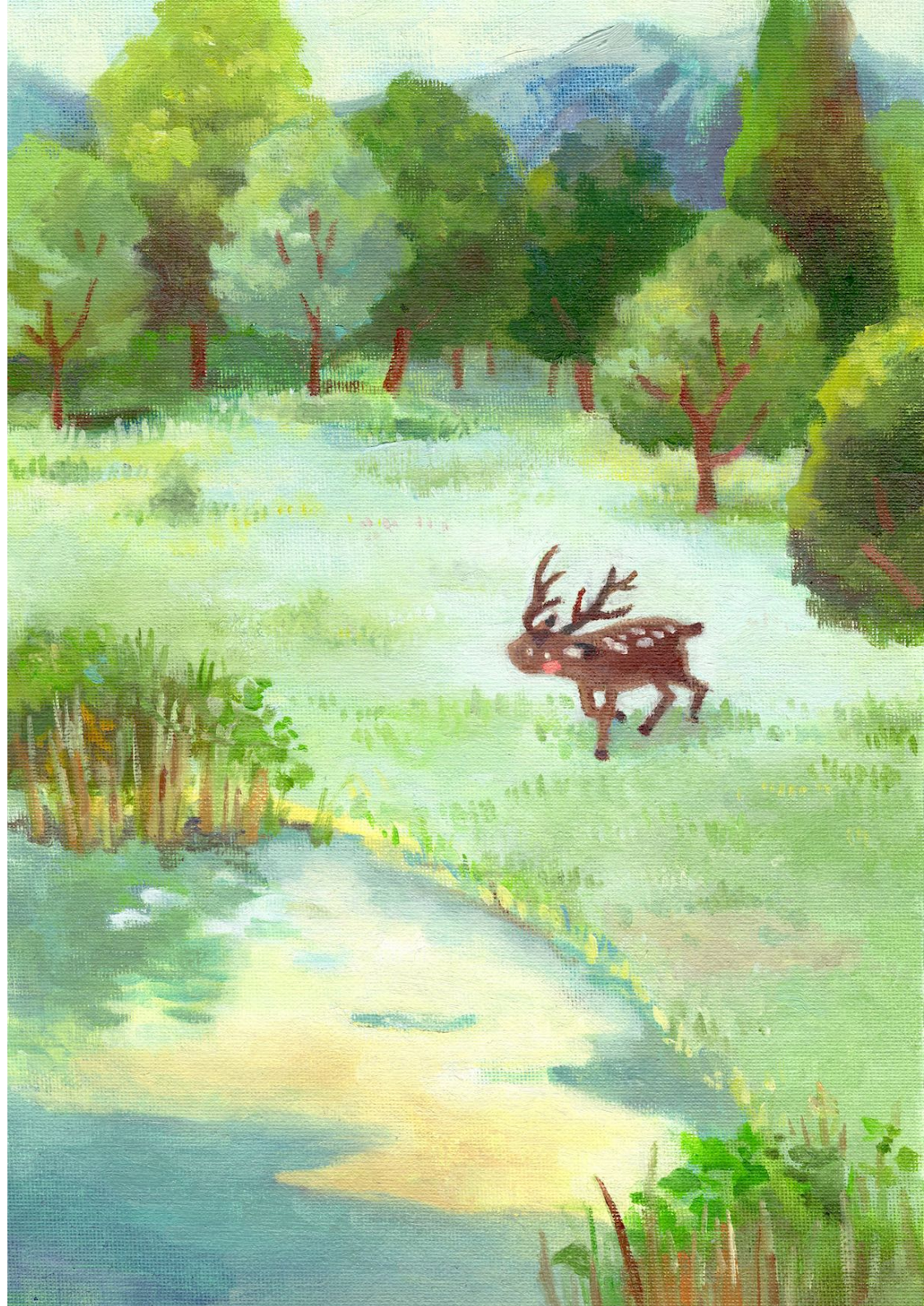


あるひ、もりに すんでいる しかが、
ひろい そうげんにある いずみに
やってきました。

しかは ながいあいだ
あるきつづけていたので、
のどが からからでした。

「ああ、やっと ついた。
はやく みずを のもう」

しかが いずみに かおを ちかづけると、
すいめんに じぶんの かおが
うつりました。



「ああ、ぼくの つのは、
なんて おおきくて りっぱなんだろう・・・」

しかし、ほんのすこし したに めをやると、
そこには しろくて ほそい、
あしが ありました。

「はあ・・・カッコわるい あしだなあ。
もっと ふとくて、しっかりした あしが
ほしかったな～」

しかは かたをおとして、
ためいきをつきました。

